

日本はどんなものを世界から買っているの？



毎日便利に使っているエネルギーや、気軽に食べたり飲んだりしているものも、日本では生み出せず、海外から買っているものがたくさんあります。日本が輸入しているものについて、日本貿易会に教えてもらいました。

A エネルギー資源から食料、機械まで、さまざまなものを買っているよ。

ヒナタとユイが手に入れたのは、日本では手に入れるのが難しいものがゲットできる、輸入先を記した宝の地図。それぞれのマークは何を意味するのでしょうか？ 地図とヒントを見て、一緒に推理してみよう！（2017年の統計における上位国です）

一の宝

一の宝

- ロシア
- オーストラリア
- インドネシア
- マレーシア
- カタール

ヒント

- ・地中に埋まる燃料の一種
- ・石油や石炭よりも環境に優しく、発電や家庭用など幅広いエネルギー源として重宝される

二の宝

二の宝

- カナダ
- アメリカ
- オーストラリア
- ウクライナ
- ロシア

ヒント

- ・パンにもパスタにもラーメンにも変化
- ・アメリカ、カナダ、オーストラリアなどの広大な土地で大量に生産すると、安く手に入る

三の宝

三の宝

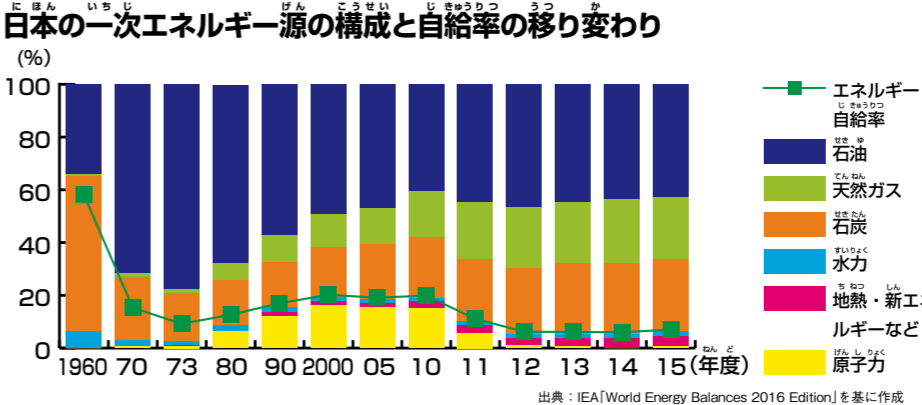
- 中国
- ベトナム
- タイ

ヒント

- ・日本で作られた部品を輸出。海外で組み立てて完成品として輸入されるものもある
- ・アジアの工場で作られることが多い

一の宝 = 天然ガス(エネルギー資源)

火力発電の燃料にしたり、家で料理を作ったり部屋を温めたり。クリーンなエネルギー源として注目されているのは、天然ガスです。石油や石炭などを含め、日本はエネルギー資源のほとんどを、海外からの輸入に頼っています。現在は9割が海外産です。

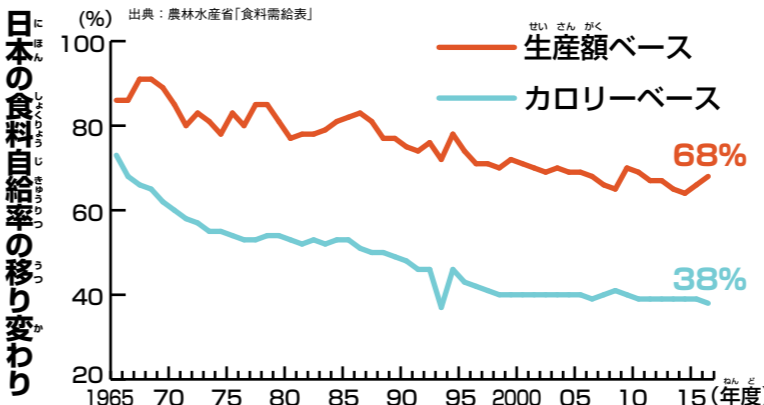


気づいたことを話し合ってみよう

- ▶日本のエネルギー自給率は、時代とともにごう変わってきたかな？
- ▶輸入されるエネルギー資源は、どんな国からやってくるのかな？ 調べてみよう。
- ▶以前と比べて増えたのは、どんな発電方法かな？ それはどうして増えたのかな？

二の宝 = 小麦(食料)

パンやパスタは、もともと日本の食文化にはなかったもの。原料となる小麦は、ほとんどを輸入に頼っています。また、日本の狭い国土では大量生産しにくい農作物も、海外の大農場で作れば、安く生産することができます。小麦だけでなく、牛や豚の飼料なども含め、日本は食料の約70%を海外から輸入しているのです。



気づいたことを話し合ってみよう

- ▶日本の食料自給率は、どうして下がり続けているのかな？
- ▶スーパーの食料品売り場に並んでいる食品は、どこからやってきたのかな？ 産地を調べてみよう。
- ▶もしも輸入ができなくなったら、毎日の食生活は、どんな風に変ってしまうのかな？

食品を輸入するとき、商社がどんな活躍をしているかについては、次のページで説明するよ！

三の宝 = 通信機(機械)

日本の輸出品目のうち、2番目に多い「半導体等電子部品」は、中国や台湾などのアジアに輸出されます。その後、現地で組み立てられ、再度部品として、あるいはスマートフォンなどに姿を変えて、輸入されます。

気づいたことを話し合ってみよう

- ▶日本の輸出品と輸入品には、どんな特徴があるかな？
- ▶それぞれの品目は、どんな国と貿易されているのかな？ 調べてみよう。
- ▶もしも貿易ができなくなったら、日本の産業はどうなってしまうだろう？ みんなで考えてみよう。

日本の輸出・輸入上位10品目(2017年)

	輸出	輸入
1位	自動車 15.1%	原油及び粗油 9.5%
2位	半導体等電子部品 5.1%	LNG 5.2%
3位	自動車の部分品 5.0%	衣類・同付属品 4.1%
4位	鉄鋼 4.2%	通信機 4.1%
5位	原動機 3.5%	半導体等電子部品 3.7%
6位	半導体等製造装置 3.3%	医薬品 3.5%
7位	プラスチック 3.2%	石炭 3.4%
8位	科学光学機器 3.1%	電算機類(含周辺機器) 2.6%
9位	電気回路等の機器 2.6%	非鉄金属 2.3%
10位	有機化合物 2.5%	科学光学機器 2.3%

出典：財務省貿易統計から